

会報 ふれあい

No.68

令和4年8月1日

発行・編集 青少年育成牛久市民会議

事務局 生涯学習課 TEL.871-2301



密を避けるために座れない席を整然と明示した親子ふれあい映画鑑賞会の会場

コロナ感染防止に万全を期して

映画会・キャンプ——青少年育成市民会議の現場活動が動き出しました

会長 田井鉄男

皆さん、写真をご覧ください。この写真は一昨年度には中止した親子ふれあい映画鑑賞会を今年の3月に実施できた様子です。また、コロナ下ですが市民会議としては用心しつつ、活動を再開し、今後のフル稼働に向けて積極的に動き出しています。映画鑑賞会では、入場の際に、マスクの着用、手指の消毒、検温等を行い、会場内ではソーシャルディスタンスをしっかりと取りました。

いつも会場は満員になりますが、ご覧のように密を避けるための座席配置をとりました。多くのリーダーの方々に加え、初参加のたくさんのお子もたちにも映画を楽しんでいただきました。このように、市民会議として活動再開に積極的に取り組みながらもしっかりととしたコロナ感染防止に気を配っております。

2-4ページには、市内の幼稚園、保育園の子どもたち、そしてボーイスカウトの皆さんが鯉まつりのために描いたパネル作品を掲載しました。未来に向けた子どもたちのパワーを受け取ってください。

この夏は、これまで小学5、6年生を対象とした例年の宿泊キャンプに代わり、1年生から6年生までの全小学生を対象としたミニキャンプを開催します。日時は8月21日(日)の9時半から12時半、場所は牛久運動公園内芝生広場で募集は50名程度です。参加費は保険代、材料費を含めて200円です。キャンプの内容はいつもの宿泊キャン

プの内容と同様、地元のボーイスカウトの方々に応援をお願いし、みんなが楽しめる内容となっています。具体的には、火起こし、ロープ渡り、丸太切り、ストロー吹き矢、キムス、暗夜行路等盛りだくさんの内容です。火起こしでは、マッシュマロ焼きを予定しており、ほんの少し、口に入る楽しみが待っています。さて、上手に焼けるかな。

丸太切りでは自分で切った木に絵付けをして世界に一つだけの自分オリジナルコースターやキーホルダーが完成します。キムスとは記憶力ゲームのことです。スタートからゴールまでの道を歩いていく途中、普段自然には存在しないものがいくつあるか歩きながら探し記憶しその記憶した物の数を競うゲームです。さあ皆さん、幾つ見つけることができるでしょうか。

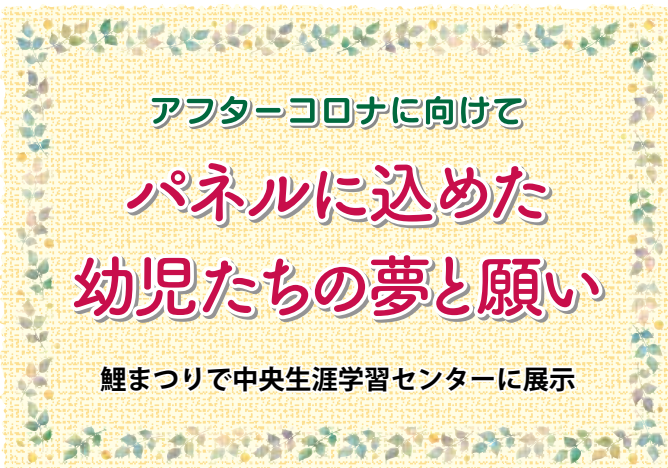
ゆらゆら揺れる一本のロープをたどりながら渡るロープ渡りは、緊張感の一方で思わず笑ってしまう場面も生まれる楽しいゲームです。暗夜行路とは聞きなれない名前ですが、目隠しをして綱を頼りにゴールまで進みます。熱いさなか冷や汗をかきながらハラハラドキドキのゲームとなりそうです。

市民会議はアフターコロナのフル活動に向け、各専門部会がそれぞれ知恵を絞って、小中学校や各種市民グループとともに連携し、エンジンを全開していきます。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いたします。



つつじが丘保育園

どんな絵にしようか話し合い、虹・花・虫・プールと、子どもたちの「大好き」がいっぱい詰まった絵になりました。



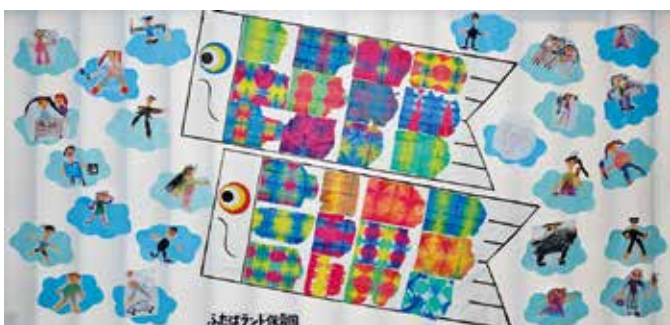
栄町保育園

「虹のかかった空を風船で飛ばしたい!!」という子どもたちの夢に願いを込めて皆で描きました。



向原保育園

クラス全員で制作しました。お菓子の包装紙を利用して飾り付け、楽しい作品に仕上げました。



ふたばランド保育園

鯉のぼりと一緒に雲に乗った将来の自分の姿を描きました。想像力を広げながら、とても楽しんで描いていました。



下根保育園

世界中のみんなが仲良く助け合う世界になるといいね、という思いを込めて、大きな「みんなの輪(和)」を作りました。



牛久ひかり保育園

子どもたちの将来の夢を描きました。絵を描く過程も楽しみ、スプレーボトルを使って背景をぼかしてあたたかさを出しました。



つつじが丘ふたばランド保育園

鯉の滝登りの話から鯉と龍を組み合わせ、自分たちの夢を乗せ空高く飛んで欲しいという願いを込めました。



牛久保育園

みんなが大好きな折り紙で蛇腹折りの集大成となるように、大・中・小ささまざまな大きさを頑張って折りました。



牛久ふれあい保育園

海が大好きなぞう組！海の浅い所と深い所で海の色を変え、住んでいる魚の違いも考えながら作り上げました。



奥野さくらふれあい保育園

足型で鯉のぼりを表現しました。友だちの足型を踏まないように押したり、滑らないようにバランスを取って歩いたり、一人一人工夫して押していました。



ひたち野うしく保育園つくしんぼ

最初は一人一人バラバラだった夢が、「いろいろな生き物が一緒に生活する世界」という一つの夢になりました。



牛久めぐみ保育園

切った折り紙を色ごとに貼る作業は協力して行いました。将来の夢の洋服を着た子どもたちがとても可愛らしいです。



牛久みらい保育園

絵の具の塗り方にも子どもたちの個性があふれ、みんなで力を合わせて大きなパネルに将来の夢を乗せました。



上町ふれあい保育園

いつも元気な子どもたちのように生き生きとした、今にも動き出すような鯉のぼりをみんなで作りしました。



牛久さくら保育園

たくさんの将来の夢があり、みんなで「1つの『街』にしよう!!」と話し合い仕上げた作品です。



第一幼稚園

子どもたちが“自分の夢”について考え、お店や場所をイメージし、みんなで貼れるように配置を工夫しました。



認定こども園フレンド幼稚園

鯉のぼりの鱗には子どもたちの将来の夢を描きました。これからは子どもたちが健やかに成長しますように……。



牛久幼稚園

一人一人の個性が鯉のぼりのキレイな鱗として映えるように、鱗部分に似顔絵を描きました。



第二幼稚園

空を飛んでみたいという意見から、子どもたちが思い思いに描き、風船や傘で飛ぶ、雲・虹に乗るなど、空にいる作品です。



ボーイスカウト牛久第1団

春・空・若葉……このままの色あそび。そんな色を鱗にのせて、牛久の空を泳ぐ大きな鯉のぼりができあがりました。

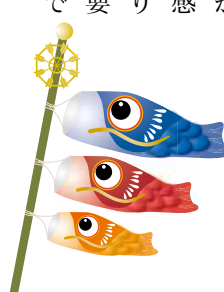


ひたち野牛久幼稚園

夢に向かって大きく成長し、心の強い子に育ってほしいという願いを込めて、夜空に輝く立派な鯉のぼりに仕上げました。

編集後記

この「ふれあい」68号は例年より1ヶ月遅れの発行ですが、それでも発行日に間に合わせるのにあたふたしました。親子ふれあい映画鑑賞会の復活、総会の対面開催など、青少年育成市民会議活動再開への取り組みは順調に進んでいます。アフターコロナのフル稼働を軌道に乗せるには、必要な時に適切に動くか、つての現場感覚をしっかりと蘇らせる必要がありそうです。




ボーイスカウト牛久第4団

楽しい行事が次々に中止になり子どもたちもがっかりしています。コロナ退散を願ってアマビエを描きました。